

- 宜野湾市では、私有林人工林が無いことから、森林環境譲与税を活用して木材利用及び普及活動を進めることとしている。
- 令和4年度においては、国民文化祭2022事業における入賞者への県産材を活用した額縁や記念品、普天間小学校図書室の書架・椅子の製作、市産業まつりにて木工体験等の普及啓発の取組を実施した。

□ 事業内容

- ・ 国民文化祭おきなわ2022開催事業の一環として、全日本健康マージャン及び将棋フェスティバルin宜野湾における入賞者へ贈呈する額縁や記念品を木材で制作。
- ・ 図書室に設置する木製の椅子や書架を製作。
- ・ 宜野湾市産業まつりにて、親子木工体験やパネル展示等の取組により県産木材の利用促進・普及啓発を実施。

【事業費】8,619千円（全額譲与税）

【実績】木製品（賞状・記念品）：16セット、木製いす：124個、書架：12個、木工体験に係る木材

□ 取組の背景

- ・ 木材利用の促進、普及啓発を図るため。

□ 工夫・留意した点

- ・ 記念品は将棋の盾のデザインとし、インパクトのある県産木材の使い方とした。
- ・ 複数の木工体験ブースを設置し、希望の体験ができるように選択肢を増やしたほか、パネル展示を行うことで、県産木材の需要拡大や普及啓発を効果的に図ることとした。

□ 取組の効果

- ・ 木材利用することにより、森林整備の循環を促進できた。
- ・ 森林資源の循環利用、森林の持つ機能について、市民の理解を深めることができた。



(木製の盾)



(コマづくり体験)



(森林の機能のパネル展示)

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：10,472千円	②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：5.8%	④人口（※2）：100,125人	⑤林業就業者数（※2）：0人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より